

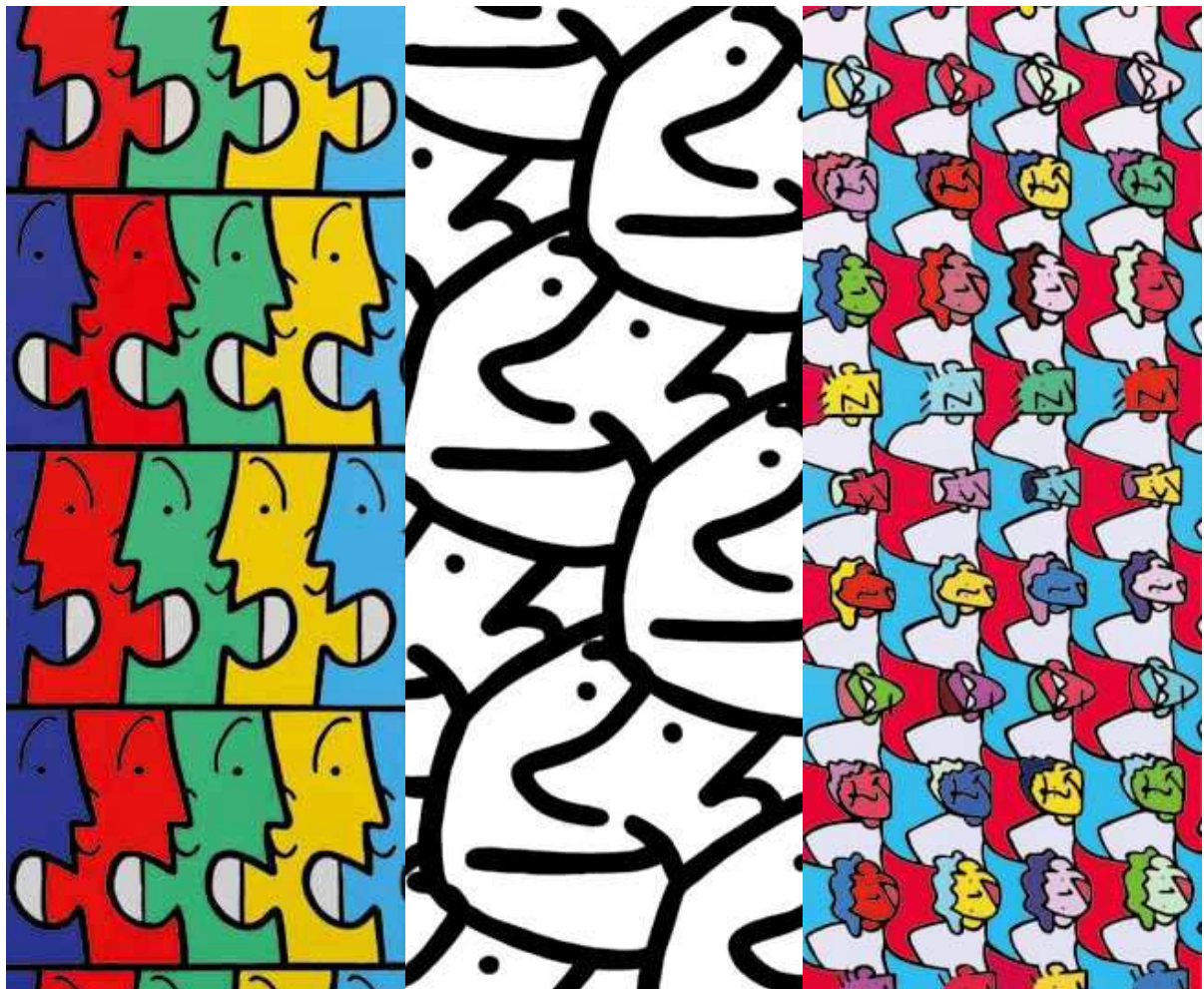
2024

学校案内

美術科

舞台表現科

音楽科



栗原ミレナ光吾子「PITTANKO」(デザイン)



芸術教育の学びの場へ

スクール・ミッション

「美術・舞台表現・音楽の芸術に関する専門教育を通して、我が国の芸術文化を支え、国内外での芸術文化活動により社会貢献する心豊かな人間の育成を図る」を教育目標とし、国際社会で活躍する一流のプロフェッショナルを育てるため、芸術の専門教育に注力するとともに、教育活動全般を通して人間尊重の精神を培い、自ら考え行動する自律的な人間を育成する。

本校の特色

美術科・舞台表現科・音楽科の3つの学科を設置した、都立高校で唯一の芸術科の専門高校です。

- 各年次構成は美術科2クラス、舞台表現科・音楽科各1クラス
- 少人数グループ編成による専門性の高い授業
- 選択科目の充実

各学科とも、専攻分野を深く学ぶための専門科目(★)を入学時に選択します。また、それぞれの学科の特性に応じて、表現の幅を広げるための選択科目(▲、○、◆)を用意しています。さらに、3年次においては、自由選択で専門性をより高めるための専門科目や受験に向けた普通教科の科目、芸術全般に関する見方や考え方を学習する科目等、それぞれの生徒の進路希望に応じた科目を最大で4～6単位学習することができます。



校舎棟



体育館棟 (アリーナ)



視聴覚室



講堂棟



講堂内(ホール)



標準服

カリキュラム

2024年度入学生（15期生）のカリキュラム（予定）

■ 普通科目 □ 専門科目 表内の数字は単位数（1単位とは、通年の場合週に1時間[50分]授業があることを示します）

■ 自由選択科目(国語演習、小論文演習、世界史演習、日本史演習、公共演習、数学演習、英語演習、情報デザイン、情報演習)

※舞台表現科は上記のほか歌唱があります

※音楽科は上記のほか実践楽典演習、応用楽典演習、実践ソルフェージュ演習、応用ソルフェージュ演習があります

単位数	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32					
美術科	1年次	現代の国語 2	言語文化 2	公共 2	数学Ⅰ 3	科学と人間生活 2	保健 1	体育 3	英語コミュニケーションⅠ 3	論理・表現Ⅰ 2	情報Ⅰ 2	HR 1	★専攻 3	素描 2	美術概論Ⅰ 1	構成 3					
	2年次	文学国語 2	古典探究Ⅰ 1	地理総合 2	数学A 2	生物基礎 2	保健 1	体育 2	英語コミュニケーションⅡ 4	家庭基礎 2	総合的な探究の時間 2	HR 1	★専攻 4	鑑賞研究Ⅰ 1	美術史 2	素描 映像専攻以外：4 映像文化研究 2 素描 映像専攻：2					
	3年次	文学国語 2	古典探究 2	歴史総合 2	体育 2	英語コミュニケーションⅢ 4	総合的な探究の時間 1	HR 1	★専攻 映像以外：6 ★専攻 映像：8		素描 映像以外：4 素描 映像：2		鑑賞研究 2	▲専門選択 2	自由選択 0～4						
舞台表現科	1年次	現代の国語 2	言語文化 2	公共 2	数学Ⅰ 3	科学と人間生活 2	保健 1	体育 3	英語コミュニケーションⅠ 3	論理・表現Ⅰ 2	情報Ⅰ 2	HR 1	演劇Ⅰ 2	演劇概論 3	*1を参照						
	2年次	文学国語 2	古典探究Ⅰ 1	地理総合 2	数学A 2	生物基礎 2	保健 1	体育 2	英語コミュニケーションⅡ 4	家庭基礎 2	◎芸術Ⅰ 2	総合的な探究の時間 2	HR 1	演劇Ⅱ 舞踊Ⅱ 3	◆演劇史 舞踊史 2	舞台表現 2	▲専門選択 2				
	3年次	文学国語 2	古典探究 2	歴史総合 2	体育 2	英語コミュニケーションⅢ 4	総合的な探究の時間 1	HR 1	演劇Ⅲ 舞踊Ⅲ 4	創作演習 4		演劇論 舞踊論 2	▲専門選択 2	自由選択 0～6							
音楽科	1年次	現代の国語 2	言語文化 2	公共 2	数学Ⅰ 3	科学と人間生活 2	保健 1	体育 3	英語コミュニケーションⅠ 3	論理・表現Ⅰ 2	情報Ⅰ 2	HR 1	★専攻 1	音楽理論 1	ソルフェージュ 3	○第一副科 1	第二副科 1	合唱または合奏 2			
	2年次	文学国語 2	古典探究Ⅰ 1	地理総合 2	数学A 2	生物基礎 2	保健 1	体育 2	英語コミュニケーションⅡ 4	家庭基礎 2	総合的な探究の時間 2	HR 1	★専攻 1	音楽理論 1	音楽史 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 2	○第一副科 1	第二副科 1	アンサンブル 1	合唱または合奏 2
	3年次	文学国語 2	古典探究 2	歴史総合 2	体育 2	英語コミュニケーションⅢ 4	総合的な探究の時間 1	HR 1	★専攻 1	音楽理論 1	音楽史 1	演奏研究 1	ソルフェージュ 3	○第一副科 1	第二副科 1	アンサンブル 1	合唱または合奏 2	自由選択 0～6			

※東京都必修教科「人間と社会」は2年次の総合的な探究の時間の中で実施します

*1 身体表現(演劇基礎2単位、アクション1単位、ダンス1単位)

*2 身体表現(舞踊基礎1単位、ボディコンディショニング2単位、日本舞踊1単位)

美術科

5つの専攻に分かれています

★日本画 ★油彩画 ★彫刻
★デザイン ★映像

▲木工、金工、陶芸、環境造形、CG、
アニメーション、写真から

1科目を選択

※映像専攻は2年次で映像文化研究(2単位)を履修するので、素描が2単位になります。3年次においては、専攻(8単位)、素描(2単位)となります。

※1年次の素描が美術Ⅰの代替科目となります。

舞台表現科

2つの専攻に分かれています

上段：演劇
下段：舞踊(以下の2コース)
クラシックバレエコース
コンテンポラリーダンスコース

◆演劇史は日本舞踊か狂言を選択

▲専門選択

演技研究、演出研究、戯曲研究、
舞台技術研究、ミュージカル、
ジャズダンス、クラシックバレエ、
コンテンポラリーダンス
上演演習から1科目を選択

◎芸術Ⅰは2年次に音楽Ⅰ、美術Ⅰ、工芸Ⅰから1科目を選択

音楽科

4つの専攻に分かれています

★器楽

鍵盤楽器(ピアノ)
管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、
ファゴット、サクソフォーン、ホルン、
チューバ、トランペット、トロンボーン)
弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、
コントラバス)
打楽器(小太鼓、マリンバ)

()内は専攻楽器名を示します

★声楽 ★作曲 ★楽理

○ピアノ専攻は「伴奏法」、

他は「副科ピアノ」を選択

※1年次のソルフェージュが音楽Ⅰの代替科目となります。

美術科

授業

専門性の高い教育課程(3年間を見据えた年次進行による授業)を組み、1年次より5つの専攻(日本画、油彩画、彫刻、デザイン、映像)に分かれて、少人数グループ編成による授業を行っています。

日本画専攻

岩絵の具などの伝統的な画材での描画と、色や形への感覚を養うために素描・着彩を学び、上級学校への進学にも対応できるよう指導します。岩絵の具の扱いは初歩から始め、3年次の卒業制作では100号超の大作に取り組みます。

油彩画専攻

1年次では素描の基礎と、油絵の具の基本的な使い方を学び、2年次ではイメージ課題や作家研究などにも取り組んで創造性を高め、表現の幅を広げます。3年次は集大成としての卒業制作に取り組みながら、入試にも対応できる技術の修得を目指します。

彫刻専攻

もの作りに必要な彫刻の造形要素を、木炭素描、塑像、木彫など3年間を通して学習します。1・2年次では模刻や首像制作などを中心に、様々な素材に触れながら基礎から学び、3年次では卒業制作として等身大の人物像などの大作を制作しながら、大学入試で求められる技術、表現の修得を目指した指導を行います。

デザイン専攻

1年次では色彩や形態の基礎を学び、2年次では実際のデザインワークに近い感覚を、椅子のデザインやポスターの制作を通して学びます。3年次では、まとめとして卒業制作と、入試に対応した技術・表現の修得を目指します。

映像専攻

1年次に素描・写真・アニメーション・動画撮影・編集などの映像制作の基礎を学び、2年次には専門性の高い指導者(特別専門講師)による実践的な内容のきめ細やかな指導を行います。3年次ではそれぞれの卒業後の進路に応じた制作活動を行うことで卒業制作、入試等につなげた指導を行います。



日本画



油彩画



彫刻



デザイン



映像



講評会

行事

美術分野の専門性と総合力を培う行事を行っています。授業課題に加え、個人制作と展示の充実、本物の芸術に触れる機会の充実を図っています。

SCHEDULE

- 5月 有志展（～6月）
進路懇談会
実技実力テスト（3年次）
- 6月 多摩美術大学特別講座（2,3年次）
美術館鑑賞教室（2年次）
- 7月 夏季実技講習会
- 9月 武蔵野美術大学特別講座（1,2年次）
コンクール展
- 10月 野外写生（1年次）
- 11月 実技実力テスト（3年次）
- 12月 卒業制作展（東京都美術館）
美術館鑑賞教室（3年次）
- 1月 2年次展
- 2月 実技実力テスト（2年次）
1日モデル授業（1年次）
1年次展



野外写生



コンクール展（展示ホール）



美術館鑑賞教室



卒業制作展（準備風景）

進路

3年間専攻をしっかりと学んだ生徒は、さらに高度な専門教育を受けるため、ほとんどが大学等へ進学します。個人個人の目標達成のために面談等を繰り返し、進路実現を図っています。

進路状況（過去3年間の主な合格校）※（）は既卒生

学校名	2年度	3年度	4年度
愛知県立芸術大学			1(1)
埼玉大学	1		
東京学芸大学		1	
東京藝術大学	15(12)	16(13)	9(7)
京都芸術大学	2		
女子美術大学	3		3
多摩美術大学	14(3)	18	15
東京家政大学	1		
室蘭工業大学		1(1)	1(1)
東京工芸大学	2	2	4

学校名	2年度	3年度	4年度
東京造形大学	5(1)	2	9
東北芸術工科大学	1		
武蔵野美術大学	29(1)	18	19(4)
日本大学	1		1
聖心女子大学		1(1)	
國學院大学		1	
桑沢デザイン研究所	2(2)		
その他大学・短期大学等	2(2)	4(2)	
その他専門学校	2	3	3
留学等		1	1

主な指定校推薦一覧（令和4年度の場合）

武蔵野美術大学、東京造形大学、女子美術大学、女子美術大学短期大学部、東京工芸大学、横浜美術大学、東北芸術工科大学、立教大学、成城大学、玉川大学、愛知県立芸術大学、文教大学、京都美術工芸大学、京都伝統工芸大学校、専門学校桑沢デザイン研究所ほか

舞台表現科

授業

専門性の高い約 100 名の特別専門講師(外部講師)によるきめ細かな指導を行います。

演劇専攻

演劇を総合的に理解し、演劇の力を自分自身の力として人の心を動かすことができる人間の育成を目指します。他者との創造的な協同作業を通じて、コミュニケーション能力を育て、自己理解を深め、視野を広げます。そのために、①戯曲をもとに演劇作品を創る授業と、②身体や声にフォーカスした身体表現系の授業を、3年間を貫く二つの軸として学びます。その周囲に狂言や日本舞踊の古典芸能の授業、またスタッフサイドから演劇を学ぶ授業などが配置されています。



演劇



●演劇専攻講師(主任)

西川 信廣 先生 Nishikawa Nobuhiro

PROFILE

文化庁派遣芸術家在外研修員として英国に滞在。ブリストル・オールドビックやロイヤル・ナショナル・シアターでロジャー・リース、ピーター・ホールなどの演出助手を務める。現在は文学座を中心に幅広く活動中。文学座アトリエの会『マイチルドレン! マイアフリカ!』にて紀伊國屋演劇賞個人賞、芸術選奨・文部大臣新人賞。文学座公演『背信の日々』で読売演劇大賞優秀演出家賞、他多数。新国立劇場演劇研修所副所長。新国立劇場理事。日本劇団協議会会長。日本演出者協会理事。

舞踊専攻

【コンテンポラリーダンスコース】

「技術」と「表現」の二つの柱を並行して学んでいきます。基礎と応用技術を習得しながら、即興から群舞・ソロ作品創作へと進みます。具体的には、仲間との共同作業を通して自己理解を深め、創作・演技及び衣裳・音楽の工夫に取り組み、プロの照明家の協力を得て舞台上演法について総合的に学び、舞台経験を豊かに積み重ねていきます。毎年、定期公演、成果発表会で作品を上演しています。



コンテンポラリーダンス



●コンテンポラリーダンスコース講師(主任)

片岡 康子 先生 Kataoka Yasuko

PROFILE

お茶の水女子大学教授としての研究教育活動を経て、現在同大名誉教授。文部省派遣在外研修員(91)。DANCE HOUSE を主宰(94)、国内外で公演活動を展開。作品はいずれも現代と人間の深部を照射した秀作として好評を博す。お茶大でのコンクール指導作品は4度の文部科学大臣賞を初めNHK賞他多数受賞。総芸では2度のNHK賞、優秀群舞賞他連続受賞。松山バレエ団顕彰「教育賞」(05)、全国舞踊コンクール優秀指導者賞他受賞。瑞宝中級章受章(21)。

【クラシックバレエコース】

将来的に世界に通用するクラシックバレエの基礎技術を、在学中の3年間を通してしっかりと身につけることを大事にしています。1年次は定期公演にコールドバレエで参加することから始まり、3月の後期成果発表会で課題作品を踊ります。2・3年次には、技術をさらに磨きながら、授業で学んだ作品を定期公演、成果発表会で上演する体験を重ねていきます。舞台経験を通じて作品世界の理解と表現力を高めていきます。



クラシックバレエ



●クラシックバレエコース講師(主任)

押領司 博子 先生 Oryoji Hiroko

PROFILE

英国ロイヤルバレエスクール・マリヨン・レイン、リン・ウォーレスに師事。橘バレエ学校卒業。牧阿佐美バレエ団入団。「NHKバレエの夕べ」白鳥の湖、眠れる森の美女、くるみ割り人形等ソリストとして活動。牧阿佐美バレエ団所属各バレエ教室及び橘バレエ学校教師を経て等々力駅前サンスタジオにバレエクラスを開講。2004年 新川崎シティアーツ開講。

行事

【発表会】

- 5月 進路懇談会
 - 6月 定期公演（演劇専攻3年次生、舞踊専攻1～3年次生）校外劇場にて開催
 - 7月 体験入学
 - 9月 専門選択「演技研究」コメディアデラルテ発表会（2・3年次選択者）校内にて発表
 - 10月 前期成果発表会（演劇専攻2年次生、舞踊専攻2年次生）校内にて発表
 - 12月 ファイナルパフォーマンス（舞踊専攻3年次生）校内にてソロ作品を中心に発表
 - 1月 演劇舞踊史「日本舞踊」発表会（演劇専攻2年次生「日本舞踊」選択者）校内にて発表
 - 2月 演劇舞踊史「狂言」発表会（演劇専攻2年次生「狂言」選択者）
身体表現「日本舞踊」発表会（舞踊専攻1年次生）校内にて発表
 - 3月 後期成果発表会（演劇専攻1年次生、舞踊専攻1年次生）校内にて発表
舞台表現「ゼロから劇をつくる」（創作劇）発表（演劇専攻2年次生）
- 【校外学習】 演劇専攻1年次生「歌舞伎教室」「文楽教室」、その他演劇・舞踊など様々な舞台作品

令和4年度第11回定期公演より



クラシックバレエ



コンテンポラリーダンス



演劇

進路

進路状況（1期生以降の主なもの）

【演劇】

東京藝術大学音楽学部、お茶の水女子大学文教育学部、早稲田大学文化構想学部、明治大学文学部、明治学院大学文学部、兵庫県立芸術文化観光専門職大学、立教大学現代心理学部・経済学部、東洋大学文学部、洗足学園音楽大学音楽学部、桜美林大学総合文化学群、成城大学文芸学部、玉川大学芸術学部、跡見学園女子大学文学部、多摩美術大学美術学部、桐朋学園短期大学、東洋大学ライフデザイン学部、二松学舎大学文学部、日本大学芸術学部、東京音楽大学音楽学部、東京工芸大学芸術学部、津田塾大学学芸学部、新国立劇場演劇研究所、文学座附属演劇研究所、東京アナウンス学院

【コンテンポラリーダンスコース】

お茶の水女子大学文教育学部、筑波大学体育専門学群、埼玉大学教育学部、東京学芸大学教育学部、横浜国立大学教育人間科学部、琉球大学国際地域創造学部、尚美学園大学、日本女子体育大学体育学部、日本大学芸術学部、神戸女学院大学音楽学部、桜美林大学総合文化学群、和光大学現代人間学部、立教大学現代心理学部、成城大学文芸学部、明治学院大学文学部、洗足学園音楽大学音楽学部、文化服装学院、NBAバレエ団、カンパニーノイズム2、OSK日本歌劇団研修所、マンハイムバレエアカデミー（ドイツ）、フォルクバング芸術大学（ドイツ）、文化庁新進芸術家海外研修員（オランダ）、アムステルダム芸術大学（オランダ）、セントラルバレエスクール（イギリス）、スクールオブトロントダンスシアター（カナダ）、アンジェ国立現代舞踊センター（フランス）

【クラシックバレエ】

昭和音楽大学短期大学部、成蹊大学文学部、中央大学文学部、日本大学芸術学部、立教大学現代心理学部、跡見学園女子大学文学部、日本女子体育大学体育学部、大妻女子大学短期大学、東京バレエ団、スターダンサーズバレエ団、松山バレエ団、NBAバレエ団、新国立劇場バレエ研修所、ABC-TOKYO ユースカンパニー、オリエンタルランド、USJ（ユニバーサルスタジオジャパン）、劇団四季研究所、ビクトリアアカデミーオブバレエ（カナダ）、ナショナルシアターバレエスクール（オーストラリア）、ナショナルバレエスクールメルボルン（オーストラリア）、ロイヤルバレエスクール（ロンドン）、マンハイムバレエアカデミー（ドイツ）、ミュンヘンインターナショナルスクール（ドイツ）、リスボン国立コンセルヴァトワール（ポルトガル）、タリン国立バレエ学校（エストニア）

主な指定校推薦一覧（令和4年度の場合）

立教大学、成城大学、洗足学園音楽大学、日本女子体育大学、玉川大学、昭和音楽大学、尚美学園大学、桐朋学園芸術短期大学

音楽科

授業

- 器楽、声楽、作曲、楽理の4つの専攻があり、各専攻の授業は専門性の高い指導者による個人レッスン形式で行います。
- ソルフェージュ（視唱、視奏、聴音）、伴奏法、副科ピアノ、アンサンブルの授業は、少人数クラスによりきめ細やかな指導を行います。
- 理論系の科目では、音楽史、演奏研究、音楽理論（楽典、和声、対位法）などを学びます。
- 3年次には自由選択科目において、楽典、対位法、ソルフェージュ、楽式など専門性をより高めるための講座を選択することができます。
- 合唱・合奏の授業ではアンサンブル能力と実技の専門性を高めます。また、年に2回外部の先生をお招きしてさらに専門的な実技指導をしていただきます。
- 授業の成果を発表する場として、オーディション合格者による発表演奏会を行います。また、アンサンブルの授業発表会、2年次コンサート、卒業演奏会など、演奏の機会を多く設けています。

今年度お招きした先生方（50音順）



器楽(オーボエ)専攻 是澤 悠 先生 Koresawa Yu

PROFILE

宮崎県日向市生まれ。
東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部器楽科オーボエ専攻卒業。
これまでにオーボエ、イングリッシュホルン奏者として、国内のプロオーケストラやプロ吹奏楽団の演奏会に出演、CD録音に参加。
現在も数多くのコンサート、レコーディング、音楽番組出演等、様々な現場で活動中。



器楽(ピアノ)専攻 桐榮 哲也 先生 Toei Tetsuya

PROFILE

桐朋学園大学、ベルリン芸術大学卒業。
エコールノルマル音楽院にて研鑽を積む。木村徹、若林頭、故エレーヌ・ラビツカヤ、ギグラ・カツアラヴァに師事。ルーマニア国立ティヌ・リパッティ交響楽団、ワルシャワフィル弦楽四重奏団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と共演。
2022年「ブラームス後期作品集」をリリース。



器楽(ピアノ)専攻 沼田 宏行 先生 Numata Hiroyuki

PROFILE

東京藝術大学附属音楽高校より、同音楽学部、大学院研究科を経て、修士及び課程博士取得。クロイツァー賞受賞。マルセイユ音楽院修了。国際ドビュッシーピアノコンクール(仏)優勝。外務省国際交流基金等にてパリ、ニース、マルセイユ、北京、上海、米国、中米各国にてリサイタル、講座を行う。愛知県立芸術大学、お茶の水女子大学、フェリス女学院大学、東京芸術大学附属高校等に勤務する。日本ピアノ教育連盟評議員。



作曲専攻 樋村 絢 先生 Himura Aya

PROFILE

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部作曲科を経て、同大学院修士課程作曲専攻を首席で修了。修了作品《Kaleidocycle for orchestra》は、買上げ作品として東京藝術大学大学美術館に収蔵される。第25回現音作曲新人賞入選。
これまでに、東京藝術大学などで勤め、現在は上野学園高等学校などで指導を行う。



器楽(ピアノ)専攻 本田 聖嗣 先生 Honda Seiji

PROFILE

東京藝術大学器楽科、パリ国立高等音楽院ピアノ科・室内楽科をブルミエ・プリにて卒業。フランス高等音楽家資格を取得。仏・伊などの国際ピアノコンクールにおいて賞を受賞し、フランス及び東京を中心にソロ・室内楽の両面で活動を開始する。
演奏活動以外では、ラジオ番組の司会や、テレビや舞台などの作品の音楽などを担当している。ヤマハスペシャルピアノレッスン、日本大学芸術学部各講師、同大学院。日本演奏連盟会員。



器楽(トランペット)専攻 山本 英助 先生 Yamamoto Eisuke

PROFILE

東京シティーフィルを経て南西ドイツフィルハーモニー管弦楽団に15年間首席トランペット奏者として在籍。ドイツを中心にヨーロッパ各地やアジアで演奏会や録音などの演奏活動を行った。帰国後もヨーロッパやアメリカ各地に招待され、ソリストとしてまたオーケストラプレイヤーとして演奏を行っている。
現在、東京都立総合芸術高等学校時間講師、国立音楽大学ディプロマコース講師、日本トランペット協会常任理事



専攻レッスン



専攻レッスン



アンサンブル

行事

音楽分野の専門性と総合力を培う行事を行っています。授業課題に加え、個人の専攻の成果を発表する機会の充実、本物の芸術に触れる機会の充実を図っています。

SCHEDULE

- 4月 オーディション(非公開)
専攻レッスン保護者参観(非公開)
- 5月 ※プチ・コンセル(講堂棟ホール)(9日)
進路懇談会(17日)(非公開)
- 6月 発表演奏会(東京文化会館小ホール)(2日)
合奏(30日)授業の公開(講堂棟ホール)
- 7月 合唱(7日)授業の公開(講堂棟ホール)
音楽科体験入学(27,28日)
在校生コンサート(28日)
- 10月 音楽科授業発表会(講堂棟ホール)(28日)
- 11月 合唱授業の公開(講堂棟ホール)(17日)
公開レッスン(講堂棟ホール)(24日)
- 12月 合奏授業の公開(講堂棟ホール)(8日)
卒業演奏会(講堂棟ホール)(9日)
※プチ・コンセル(講堂棟ホール)(12日)
- 3月 2年次コンサート(講堂棟ホール)(10日)
※プチ・コンセル(講堂棟ホール)(19日)
モーニングコンサート(通年・不定期で実施)
※プチ・コンセルとは生徒主体によるコンサートです。

7月および11月の合唱授業の公開日には三宅悠太先生にご指導いただきます。



三宅 悠太 先生 Miyake Yuta

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院作曲専攻修了。奏楽堂日本歌曲コンクール第12回作曲部門第1位。第79回日本音楽コンクール作曲部門(オーケストラ作品)第1位、併せて岩谷賞(聴衆賞)および明治安田賞受賞。管弦楽、室内楽、舞台音楽、合唱曲、ほか多岐に渡る作編曲を手がける。聖心女子大学、エリザベト音楽大学、都立総合芸術高校 各講師。

6月および12月の合奏授業の公開日には東京都交響楽団の団員の方にご指導いただく予定です。

11月の公開レッスンでは、過去、江口文子先生、横山幸雄先生など著名なピアニストの方にご指導いただいています。
今年度はピアニストの長尾洋史先生にご指導いただきます。



長尾 洋史 先生 Nagao Hiroshi

東京藝術大学、同大学院修士課程を修了。安宅賞を受賞。宗廣祐詩、遠藤道子、米谷治郎の各氏に師事。1995年、パリ・エコールノルマルに留学。NHK交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団など主要オーケストラとの共演、ソロ・リサイタル、多数の国内外の作品初演、主要音楽祭、NHK等のメディア出演のほか、マクサンス・ラリュエ(フルート)、ジャン＝イヴ・フルモー(サクソフォン)、パーヴェル・ベルマン(ヴァイオリン)など国内外の管楽器、弦楽器奏者と共に、その活動は多岐にわたっている。CDは「エボカシオン」「ラヴェル&ドビュッシー」(ライブノーツ)、「リスト&レーガーを弾く」(コジマ録音)、現在進行中の「長尾洋史ピアノムシリーズ」(録音研究室)のソロ、またミシェル・ベッケ(トロンボーン)、ワルター・アウアー(フルート)、加納悦子(メソソプラノ)らとの共演およびCD多数。透明で芯のある美しい音、緻密で精巧なテクニックの中に、熟くみずみずしい音楽を聴かせることのできる数少ない演奏家である。



佐藤 桃 先生 Sato Momo

民間OB等活用事業本校音楽科コーディネーター
東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。室内楽を中心にオーケストラ・吹奏楽の分野で活動。また、様々なジャンルのライブや、CM・ドラマ・ゲーム音楽等のレコーディングにも多数参加している。演劇作品では新国立劇場『夢の裂け目』『夢の泪』『夢の狐』『箱根強羅ホテル』(いずれも井上ひさし作/栗山民也演出)に出演。『櫻の園』(チェーホフ作/栗山民也演出)の音楽を監修。小学生から大学生、社会人まで演奏指導を行い、後進の育成にも力を注いでいる。
International Women's Brass Conference 2024 実行委員。

8月と12月にMUSIC PLAYERSおかわり団による演奏会を行います。



**MUSIC PLAYERS
おかわり団**

東京藝術大学同期生で結成された、他に類を見ない編成のアンサンブル・ユニット。クラシック音楽を身近に感じていただきたいという趣旨のもと、全曲オリジナルのアレンジで様々なテーマによる自主公演を開催するほか、学校での演奏会などにも数多く出演し、好評を博している。2023年7月、サントリーホール主催「いろいろドレドレ vol.7」出演予定。

進路

3年間専攻をしっかりと学んだ生徒は、さらに高度な専門教育を受けるため、ほとんどが大学等へ進学します。個人個人の目標達成のために面談等を繰り返し、進路実現を図っています。

進路状況 (過去3年間の主な合格校) ※()は既卒生

学校名	2年度	3年度	4年度
東京藝術大学	10(5)	8(2)	13(3)
京都市立芸術大学		1	
桐朋学園大学	8(3)	4(1)	5
東京音楽大学	12(3)	11(1)	13(2)
国立音楽大学	4	4	5(2)

学校名	2年度	3年度	4年度
武蔵野音楽大学		2	2
洗足学園音楽大学	2(1)	3(1)	2
昭和音楽大学		1	1
日本大学芸術学部	1	2(1)	3(1)
立教大学		1(1)	

5月の進路懇談会では
社会人の方にもお越しいただき
お話を伺います。

学校生活

全体行事

各科の行事だけでなく、三科全体で行う行事もたくさんあります。遠足や芸術鑑賞教室、約半年間をかけて準備をする文化祭など総芸ならではの行事が盛りだくさんです。

- 4月 入学式
新入生歓迎会
防災訓練
- 5月 遠足
生徒総会
健康診断
- 6月 授業公開
- 9月 文化祭
- 11月 授業公開
修学旅行(2年次)
芸術鑑賞教室
生徒総会
- 3月 三送会
卒業式



文化祭



入学式



文化祭



1年次遠足



新入生歓迎会



修学旅行



防災訓練

部活動・同好会

全国高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）に毎年参加して好成績をあげているコンテンポラリーダンス部、スパイスから調合する本格的なカレーを作るカレー部、殺陣部、メサイヤ研究部などユニークでバラエティに富んだ部活動、同好会。科は違えども同じ趣味や目的をもって日々活動しています。

部活動 18

演劇 写真 漫画研究 ジャズ研究
プチコンセール カレー メサイヤ研究
ヴォーカルアンサンブル 殺陣 茶道 陶芸
軽音楽 映像放送制作 テニス 空手道 ダンス
コンテンポラリーダンス 造形

同好会 12

書道 食物研究 伝統文化 バックステージ
卓上ゲーム Art Night フットサル バドミントン
百人一首 陸上 バレーボール 園芸



演劇部



造形部



殺陣部



空手道部



コンテンポラリーダンス部
AJDF 神戸・創作コンクール部門
NHK 賞、特別賞、審査員賞他連続受賞



写真部
第 28 回全国高等学校写真選手権大会
「写真甲子園 2021」東京代表敢闘賞

生徒会

一番大きな仕事は文化祭の運営です。装飾やステージの運営など表に立つ仕事ばかりではなく、目には見えにくい仕事もこなす、総芸行事の屋台骨です。

生徒会長(3 年次 舞台表現科)

本校の生徒会は、10 月に行われる生徒会役員選挙により 1, 2 年次生から選出されます。13 期生徒会は、個性的で、仲が良く、一人一人が仕事をこなす力を持っています。私たちの活動の中で最も大きなイベントは文化祭です。3 年間、感染症などの影響で縮小された形での文化祭でした。今年からはなるべく生徒たちが楽しめる形にしていけるよう学校全体を引っ張っていきます。



令和5年度 学校説明会・体験入学・見学会・授業公開等

本校の期待する生徒の姿

本校は都立で唯一の芸術に関する高度な専門教育を行う全日制単位制高校であり、特定の芸術の領域に偏らない総合的な芸術全般に関する見方や考え方を学ぶことができる学校です。

本校では、芸術各分野での高度な専門性を備え、豊かな教養や広い視野をもち、芸術活動を通じて社会に貢献することのできる人間の育成を目指しています。

美術科

- 1 本校美術科志望の意志が強く、芸術全般を愛好し、明確な目的意識をもって学習に取り組む生徒
- 2 絵画（日本画・油彩画）、彫刻、デザイン、映像のいずれかの専攻に対する適性及び優れた能力をもつ生徒
- 3 学習成績が良好であり、学校生活全般を通して自らを向上させる意欲のある生徒

舞台表現科

- 1 本校舞台表現科志望の意志が強く、芸術全般を愛好し、明確な目的意識をもって学習に取り組む生徒
- 2 演劇、舞踊のいずれかの専攻に対する適性及び優れた能力をもつ生徒
- 3 学習成績が良好であり、学校生活全般を通して自らを向上させる意欲のある生徒

音楽科

- 1 本校音楽科志望の意志が強く、芸術全般を愛好し、明確な目的意識をもって学習に取り組む生徒
- 2 器楽、声楽、作曲、楽理のいずれかの専攻に対する適性及び優れた能力をもつ生徒
- 3 学習成績が良好であり、学校生活全般を通して自らを向上させる意欲のある生徒

全ての催しについて、事前申し込み（電子申請）による入場者制限等が予定されています。

【授業公開】

- ・令和5年6月30日（金）、令和5年11月17日（金）
受付開始：開始時刻の10分前より 校舎棟エントランスホールにて
公開時間：(1) 8:40～10:30 (2) 10:40～12:30
(3) 13:20～15:05

【施設見学会】

- ・令和5年7月25日（火）、令和5年8月22日（火）
受付：講堂棟ホール 10分前から受付を開始します
案内開始：(1) 午前の部 (2) 午後の部 （各回40分程度）
午前・午後各回10分毎に15組を予定

【体験入学】

■美術科

素描・彫刻・映像から1講座を選び応募します。

- ・令和5年7月21日（金）
第1回 9:00～素描 13:00～彫刻 13:00～映像
- ・令和5年7月22日（土）
第2回 9:00～素描 13:00～彫刻 13:00～映像

■舞台表現科

講座を一つ選び応募します。

演劇

- ・令和5年7月21日（金） 第1回 10:00～ 第2回 14:00～
- ・令和5年7月22日（土） 第3回 10:00～ 第4回 14:00～

舞踊

- ・令和5年7月21日（金） 第1回 9:00～ 第2回 11:00～
第3回 14:00～
- ・令和5年7月22日（土） 第4回 9:00～ 第5回 11:00～
第6回 14:00～

■音楽科

- ・令和5年7月27日（木） 聴音及び視唱の体験授業
（午前又は午後、申込後決定）
- ・令和5年7月28日（金） 模擬授業見学及び在校生コンサート
9:00～

【学校説明会】

※注記：開場は、開始時刻の30分前です。

入学者選抜の詳細な内容について、この会で説明します。

- ・令和5年10月1日（日）
9:30～音楽科、12:00～舞台表現科、14:30～美術科
- ・令和5年11月4日（土）
9:30～音楽科、12:00～舞台表現科、14:30～美術科
会場：本校講堂棟ホール

【文化祭】

- ・令和5年9月23日（土）、令和5年9月24日（日）
展示、映像上演、舞台上演、その他

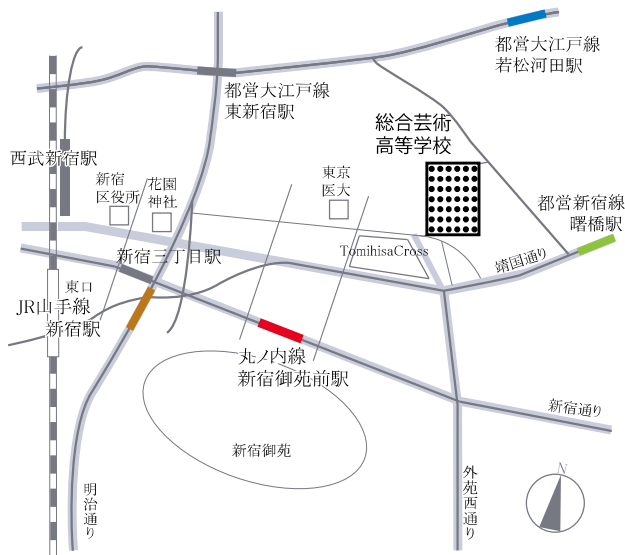
※受検を希望する中学生、一般の方のご来場の可否、受付方法については現時点では未定です。決定次第ホームページに掲載します。

Access

- 都営新宿線「曙橋駅」下車 A2出口 徒歩9分
- 東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前駅」下車 大木戸門口 徒歩11分
- 東京メトロ副都心線「新宿三丁目駅」下車 C7出口 徒歩15分
- 都営大江戸線「若松河田駅」下車 河田口 徒歩12分

表紙 美術科 デザイン専攻(令和4年度卒業)

栗原ミレナ光吾子 「PITTANKO」



〒162-0067 東京都新宿区富久町2-2-1

TEL 03-3354-5288

FAX 03-3354-6322

東京都立総合芸術高等学校の公式ホームページ
<https://www.metro.ed.jp/sogo-geijutsu-h/>

